

静岡県月例経済報告

(令和7年12月号)

……令和7年10月を中心とした県内経済のすがた……

No. 596



静岡県産業情報

メールマガジン配信サービス

県内の商工業、労働、農林水産業の最新情報をメールマガジンでお届け

 しづおか産業だよりSeeds



▲配信希望の方は
こちらから

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7	
・生産面	15	
・雇用面	17	
・その他	20	
III	静岡県主要産業の動向	24
IV	データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た つ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によつては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

[本稿は、令和7年10月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。]

概 况

令和7年10月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。また、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・輸出は、持ち直しつつある。
- ・生産は、横ばいとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額(10月)は、百貨店が2か月ぶり、スーパーが12か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも12か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(10月)は、家電大型専門店が2か月ぶり、ホームセンターが4か月ぶり、コンビニエンスストアが8か月連続、ドラッグストアが2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(10月)は、軽自動車が2か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(10月)は、貸家が3か月連続、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が7か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(10月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(9月調査)の令和7年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(10月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、持ち直しつつある」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(10月)は、原動機が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、自動車が10か月ぶり、二輪自動車類が2か月ぶり、科学光学機器が15か月ぶり、エアコンが2か月連続、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも10か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(10月)は、パルプ、原動機がいずれも2か月連続、紙類及び同製品が3か月連続で前年実績を下回ったものの、木材が2か月ぶり、魚介類及び同調製品、自動車の部分品がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,085億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(10月)は、パルプ・紙・紙加工品が2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械が4か月連続で前年水準を下回ったものの、食料品・たばこが7か月ぶり、電気機械が14か月連続、輸送機械が2か月連続、化学が2か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。なお、前月比は2か月ぶりに増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(10月)は1.06倍となり、前月を0.02ポイント上回った。57か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(10月)は、5か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(9月)は2か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(10月)は、前年同月比 1.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(10月)は、前年同月比 27.6%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(10月)は、件数は18件(前年同月比 38.5%増)と前年実績を上回り、負債総額は3,149百万円(同 132.6%増)と前年実績を上回った。

<トピックス>

静岡県は パートナーシップ構築宣言 を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ 構築宣言とは

「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子（令和7年9月9日）

パートナーシップ構築宣言登録数 (R7. 11. 30時点)

全国
6位

県内

3, 969社

全国

81, 789社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 企業イメージの向上
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 宣言内容の実行
- 定期的な宣言内容の見直し
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更



静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ
静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課
TEL : 054-221-2182
URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら
(公財)全国中小企業振興機関協会
TEL : 03-6228-3802
<https://www.biz-partnership.jp/>



<トピックス>

令和7年度

静岡県企業脱炭素化 推進フォーラム

脱炭素化への取組は単なるコストではなく、企業の魅力を高め、競争力や企業価値の向上に繋がる戦略となります。そこで、今回は静岡県立大学経営情報学部教授の岩崎邦彦氏に、中小企業のプランディング戦略についてご講演いただくとともに、県内企業の脱炭素経営におけるプランディング優良事例を紹介します。

併せて、フォーラム会員からの情報提供や資料コーナーの展示、参加者同士の名刺交換等の機会もありますので是非ご参加ください。

参加費 無料

定員 150名
先着順

基調講演 中小企業を強くするブランド作り

静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎 邦彦 氏

事例紹介

1 コストから投資へ
—小さく始めて大きく伸ばす環境プランディング

伊藤金物株式会社
代表取締役 伊藤 光昭氏

2 脱炭素を価値に変える
～カナックが挑むカーボンニュートラル経営～

株式会社カナック
経営戦略室 室長 山田 哲嘉氏

令和8年 1月23日(金) 13:15-16:30 (開場 12:45~)

会場 ホテルアソシア静岡駿府Ⅰ
静岡市葵区黒金町56
※リアル開催のみ

開催日時 内容

事業紹介 企業脱炭素化支援センター
基調講演 静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎邦彦 氏
事例紹介 伊藤金物株式会社 代表取締役 伊藤光昭 氏
株式会社カナック 経営戦略室 室長 山田哲嘉 氏
情報提供 株式会社モズラボ
三島信用金庫
島田掛川信用金庫
名刺交換会 資料コーナー見学、登壇企業への質問等
※詳細は裏面をご覧ください
資料の配付をご希望の際は事前にお問い合わせください

主催:静岡県企業脱炭素化推進フォーラム(静岡県・(公財)静岡県産業振興財団)

お問い合わせ 公益財団法人 静岡県産業振興財団 企業脱炭素化支援センター
〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館4階 newinnovate@ric-shizuoka.or.jp ☎ 054-273-4437

<トピックス>



私は未来をモノにする。

OPEN CAMPUS

静岡県立工科短期大学校 2025

Shizuoka College of Technology

**すうじて
みる**

静岡県立工科短期大学校の魅力

高い就職率
**就職率※
100%**
※令和7年3月卒業生実績

授業料の安さ
**全国
1位※**
年額 234,600円
※全国の職業能力開発
短期大学校との比較

求人倍率
14.4倍
※令和7年3月卒業予定の
大学生の全国平均1.75倍

教員数
**20~30
人 / 学科**

実習の割合
6割以上



オープンキャンパス開催日程

静岡キャンパス	沼津キャンパス
5/17(土) 令和7年	5/24(土)
6/14(土)	6/21(土)
7/12(土) 午前・午後	7/19(土) 午前・午後
8/26(火) 午前・午後	8/21(木) 午前・午後
9/13(土)	9/20(土)
11/8(土)	11/15(土)
1/31(土)	1/24(土)
3/14(土)	3/18(水)

- 開催時間 10時～（2時間程度）
- ※ 7・8月開催分については、10時～、13時～
- 「授業見学会」は8月・静岡のみ
- 受付は30分前から





静岡県立工科短期大学校

<https://scot.ac.jp/>





- 静岡キャンパス／〒424-0881 静岡県静岡市清水区楠160 TEL 054-345-2033 FAX 054-345-2921
- 沼津キャンパス／〒410-0022 静岡県沼津市大岡4044-24 TEL 055-925-1073 FAX 055-925-1115

5

<トピックス>

静岡県外国人材受入相談窓口

令和7年度



外国人材受入 出張相談会



参加費
無料

2026年 1月29日(木)

10:00 ▶ 15:00

会場 沼津商工会議所 4階会議室D

〒410-0046 静岡県沼津市米山町6-5

会社でこんなお悩みありませんか？

- ✓ [職場整備のこと]
外国人従業員に長く働いてもらうための、社内ルールや環境づくりが分からず。
- ✓ [採用のこと]
どの国の人材が自社に合うのか、採用の方法や制度が複雑で判断がつかず。
- ✓ [コミュニケーションのこと]
言葉の壁や文化の違いで、社員同士の意思疎通に不安がある。
- ✓ [生活支援のこと]
住居の手配や地域での生活支援など、企業がどこまで対応すればよいのか迷っている。

お申込み・お問合せ

静岡県外国人材受入相談窓口 お電話またはWEBで予約可能です。

📞 0120-475-199

WEBでのお申込はこちら

受付時間：10:00～17:00（月～土） www.gaikokujinzai.pref.shizuoka.jp



II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

10月 = 39,321百万円

*前年同月比： 4.7%増

(県内3百貨店、167スーパー合計)

<概況>

10月の大型小売店販売額は39,321百万円で、前年同月比4.7%増となり、12か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比2.3%増)が2か月ぶり、スーパー(同5.2%増)が12か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品(同14.6%減)が10か月連続、身の回り品(同19.3%減)が12か月連続、家庭用品(同5.6%減)が10か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品(同5.9%増)が15か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.7%増と、22か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額(百万円)	40,511	37,850	39,155	38,899	39,801	40,744	37,392	39,321
前年同月比(%)	3.6	4.9	4.4	2.1	1.7	1.1	1.5	4.7
うち百貨店(%)	▲1.0	0.7	▲2.3	▲6.8	▲4.2	6.1	▲7.4	2.3
スーパー(%)	4.4	5.6	5.5	3.8	2.7	0.5	3.0	5.2
(参考1)全国前年同月比(%)	1.7	1.5	0.6	▲0.1	0.4	1.8	1.9	3.3
うち百貨店(%)	▲2.9	▲4.5	▲7.0	▲7.7	▲6.1	2.5	1.4	4.2
スーパー(%)	3.7	3.9	3.6	3.1	3.1	1.6	2.1	3.0
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	4.7	5.1	4.7	2.3	1.9	2.1	2.2	4.7

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣料品	▲17.1	▲19.4	▲17.4	▲17.4	▲21.3	▲13.1	▲26.6	▲14.6
うち紳士服・洋品	▲19.6	▲24.6	▲19.6	▲21.3	▲29.0	▲22.0	▲23.6	▲19.3
婦人・子供服・洋品	▲16.7	▲17.8	▲17.6	▲16.6	▲18.0	▲9.7	▲27.3	▲12.4
身の回り品	▲15.5	▲17.5	▲10.1	▲22.1	▲19.4	▲21.3	▲0.7	▲19.3
飲食料品	5.0	7.5	6.8	4.2	4.3	1.5	4.0	5.9
家庭用品	▲6.5	▲7.4	▲6.5	▲1.7	▲10.9	▲12.4	▲11.5	▲5.6
うち家庭用電気機械器具	5.0	4.7	5.2	13.8	▲1.3	7.8	5.6	18.6

(注)店舗数調整済、全月速報値

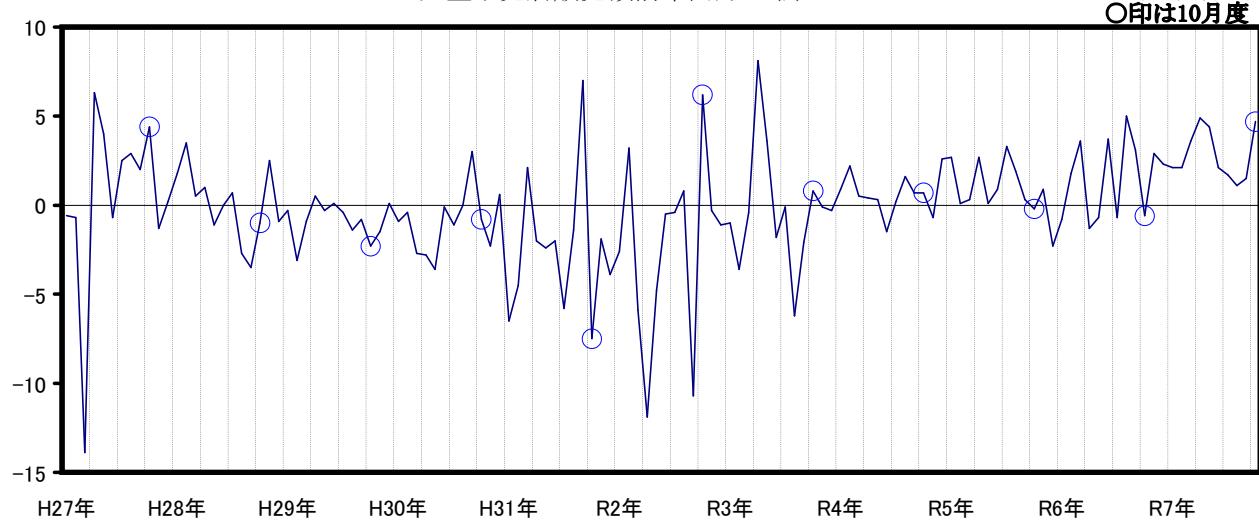
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は10月度



(2) 専門量販店等販売額

10月 = 79,002百万円

*前年同月比： 2.1%増

(県内92家電大型専門店、1,672コンビニエンスストア、627ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概況>

10月の専門量販店等販売額は79,002百万円で、前年同月比 2.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 9.7%増）が2か月ぶり、ホームセンター（同 0.7%増）が4か月ぶり、コンビニエンスストア（同 0.8%増）が8か月連続、ドラッグストア（同 1.9%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	83,621	77,470	80,070	81,786	85,310	85,012	78,109	79,002
前年同月比（%）	4.0	2.3	3.4	4.3	▲ 0.1	0.1	1.3	2.1
うち 家電大型専門店（%）	3.2	3.2	5.9	4.5	▲ 12.6	0.4	▲ 1.7	9.7
コンビニエンスストア（%）	3.0	1.8	2.2	4.3	1.1	2.2	1.8	0.8
ドラッグストア（%）	6.4	3.8	5.3	4.6	3.4	▲ 0.2	3.0	1.9
ホームセンター（%）	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 0.6	2.7	▲ 2.0	▲ 6.3	▲ 3.8	0.7
(参考)全国前年同月比（%）	5.0	3.6	4.5	5.3	2.5	2.8	3.3	4.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

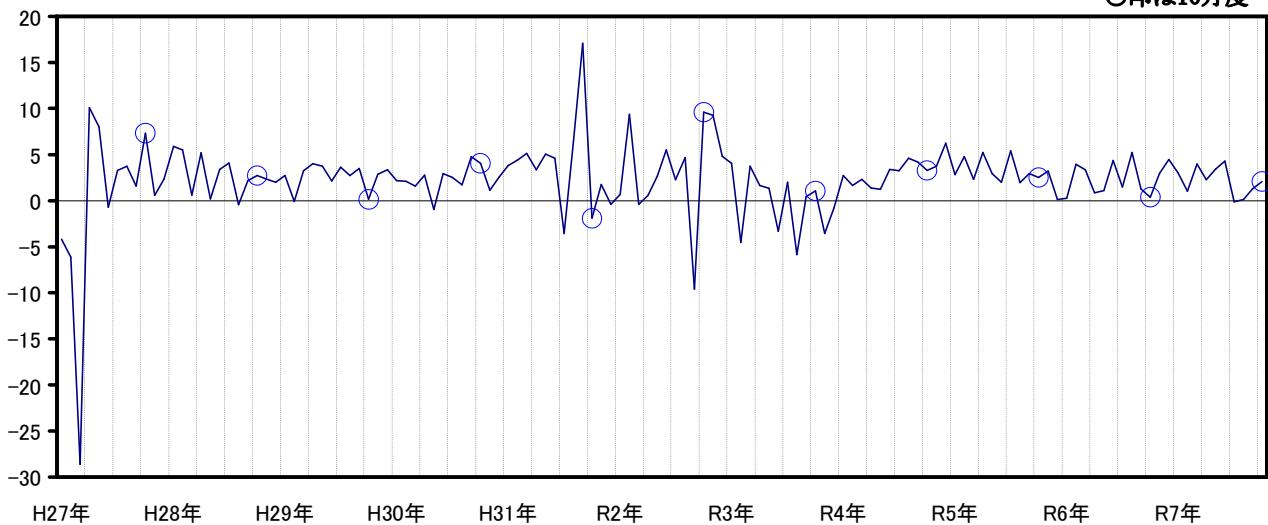
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省
○印は10月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

10月 = 13,867 台

*前年同月比： 0.5%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

10月の自動車(新車)新規登録台数は、13,867台で、2か月ぶりに前年実績を下回った。
 車種別にみると、軽自動車(前年同月比 2.0%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 2.6%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録台数(台)	17,219	11,709	10,847	13,690	12,819	10,080	14,837	13,867
前年同月比(%)	9.7	11.0	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2	2.3	▲0.5
(参考)全国前年同月比(%)	9.6	11.0	3.1	5.5	▲3.7	▲8.2	▲2.4	▲2.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

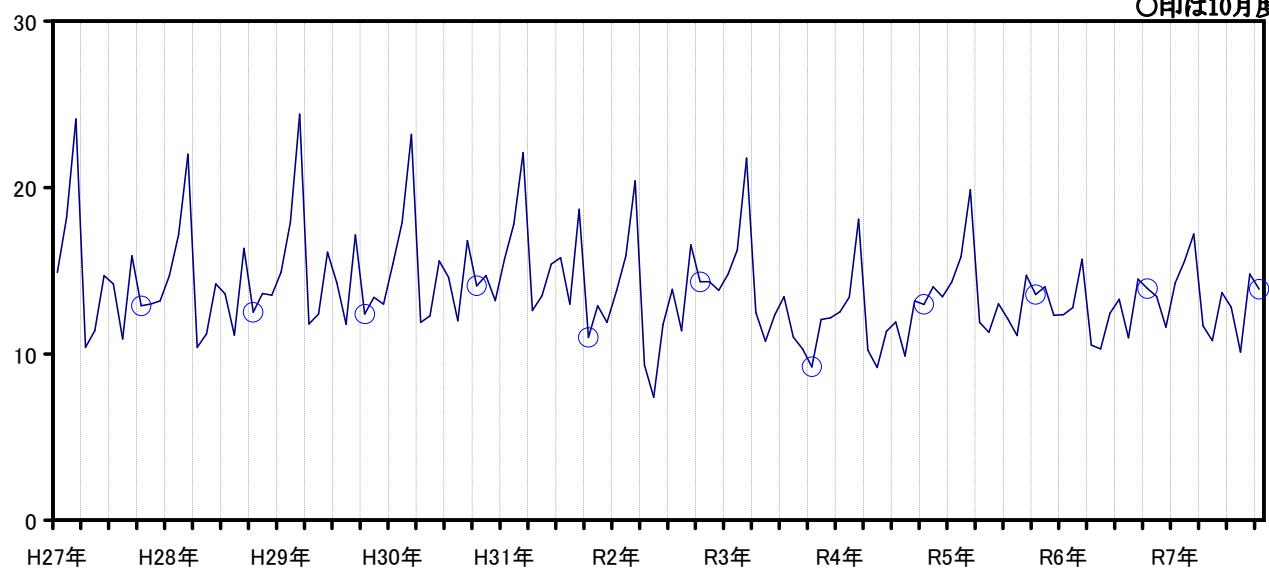
	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 乗 用 車	9.7	11.0	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2	2.3	▲0.5
乗 用 車	9.4	▲0.1	▲0.1	8.6	▲2.9	▲11.8	2.7	▲2.6
軽 自 動 車	10.1	26.6	12.3	11.9	▲4.4	▲4.0	2.0	2.0

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は10月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

10月 = 1,766 戸

*前年同月比： 13.7%減

<概況>

10月の新設住宅着工戸数は1,766戸で、前年同月比 13.7%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

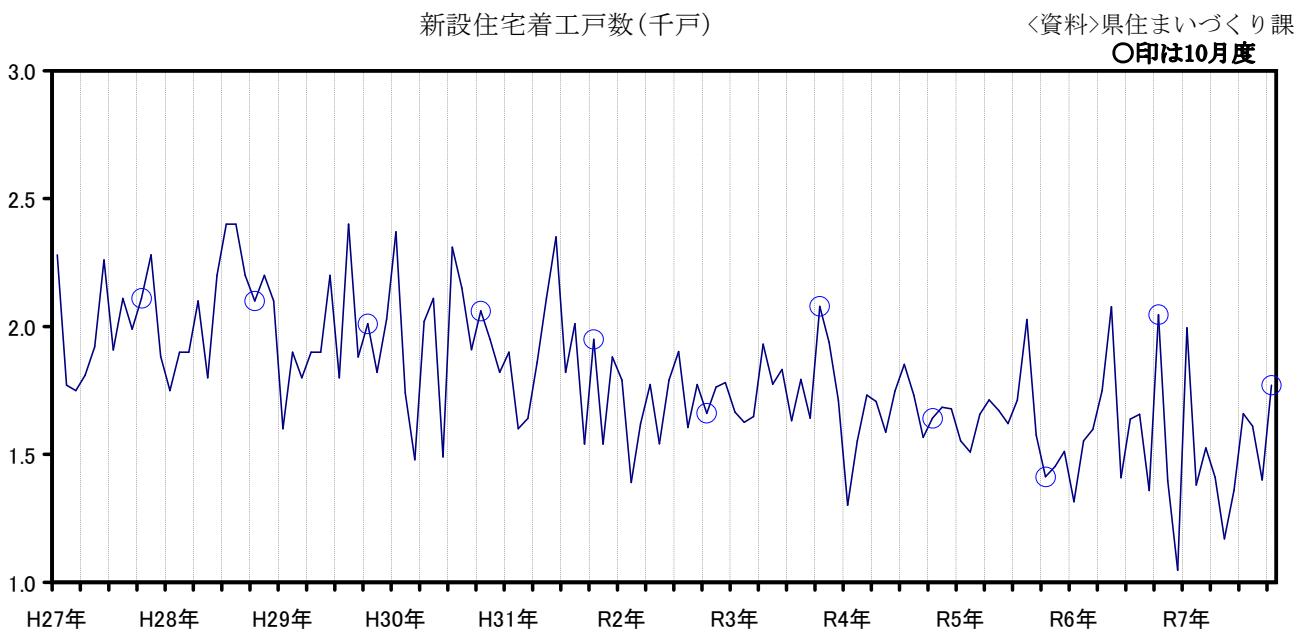
利用関係別にみると、貸家（前年同月比 0.3%増）が3か月連続、分譲住宅（同 4.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 1.5%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
戸 数 (戸)	1,525	1,412	1,174	1,364	1,662	1,605	1,403	1,766
前 年 同 月 比 (%)	▲ 4.6	▲ 19.3	▲ 43.5	▲ 3.2	1.5	▲ 3.1	3.2	▲ 13.7
うち 持 家 (%)	17.7	▲ 16.8	▲ 24.9	▲ 24.6	▲ 5.7	▲ 10.4	▲ 8.7	▲ 1.5
貸 家 (%)	▲ 25.6	▲ 41.5	▲ 29.0	33.0	▲ 7.2	9.4	11.5	0.3
分譲住宅 (%)	11.1	14.4	▲ 70.0	▲ 6.7	61.5	▲ 9.4	37.6	4.3
(参考)全国前年同月比 (%)	39.1	▲ 26.6	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7	▲ 9.8	▲ 7.3	3.2

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>



3 公共工事請負金額

10月 = 19,857百万円

*前年同月比： 9.2%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

10月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は19,857百万円で、前年同月比9.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は646件で、前年同月比8.6%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額（百万円）	31,501	65,432	43,571	51,879	37,302	27,483	46,869	19,857
前年同月比（%）	36.2	24.7	▲9.2	39.8	6.2	▲1.9	44.8	▲9.2
年度累計前年同月比（%）	5.1	24.7	8.5	16.9	14.7	12.4	16.9	14.7
件数（件）	540	445	542	711	832	639	1,012	646
前年同月比（%）	33.3	▲19.2	▲19.1	▲7.4	9.3	▲11.6	11.6	▲8.6
年度累計前年同月比（%）	▲1.0	▲19.2	▲19.2	▲14.6	▲8.0	▲8.8	▲4.5	▲5.1

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国	48.7	▲32.8	▲22.3	6.4	65.9	▲38.5	21.4	69.7
独立行政法人等	▲74.2	▲32.1	▲34.7	250.7	9.1	4,130.3	1,772.5	10.2
県	77.1	▲2.0	▲13.0	58.2	11.6	9.9	18.4	▲22.9
市町	18.2	23.2	7.2	24.7	▲13.7	1.6	15.9	▲14.7
地方公社	-	-	-	74.7	47.0	-	1,301.4	▲87.0
その他の	▲21.4	364.1	25.3	383.0	14.2	▲61.4	48.6	276.8

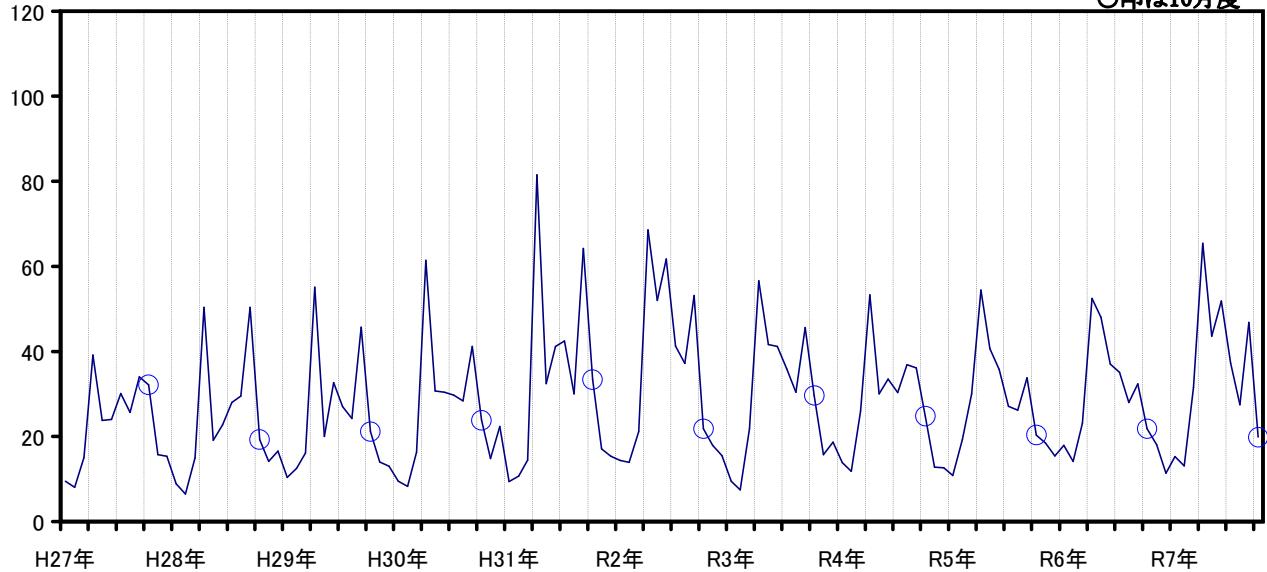
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は10月度



4 設備投資

<概況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比35.1%増）、非製造業（同4.6%増）、全産業（同22.0%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比16.6%増）、非製造業（同4.0%増）、全産業（同14.0%増）においていずれも増加する計画となっている。

10月の着工建築物床面積（非居住用）は67,567m²で、前年同月比47.2%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果> (前年度比%) () 内は前回調査比修正率)

設備投資（含む土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	7.2	(▲4.8) 22.0
	全国	7.5	(1.5) 8.4
製造業	県	11.5	(▲4.2) 35.1
	全国	7.3	(1.3) 13.9
非製造業	県	2.4	(▲5.6) 4.6
	全国	7.6	(1.7) 5.3

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	11.7	(▲2.6) 14.0
	全国	6.9	(0.8) 9.5
製造業	県	15.1	(▲1.7) 16.6
	全国	6.6	(0.7) 10.4
非製造業	県	0.8	(▲6.3) 4.0
	全国	7.1	(0.8) 8.6

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和7年9月調査)」

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
着工建築物床面積（非居住用）(m ²)	43,226	86,908	91,242	34,889	89,689	57,307	37,380	67,567
前年同月比 (%)	▲36.6	▲5.9	▲35.8	▲77.5	46.3	▲14.8	▲57.6	▲47.2
(参考) 全国前年同月比 (%)	7.5	0.9	22.8	▲13.9	▲20.7	▲15.6	▲3.1	▲8.0

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D.I.>

	R7年6月	R7年9月	R7年12月 (予測)
全 产 業	5	5	1
製 造 業	▲7	▲8	▲5
非 製 造 業	16	18	7
(参考) 全国・全産業	15	15	10

(注4) 業況判断D.I.:「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和7年9月調査)」

5 輸出

10月 = 230,911百万円

*前年同月比： 8.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸出総額は230,911百万円で、前年同月比8.7%増となり、10か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比13.0%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、自動車（同15.3%増）が10か月ぶり、二輪自動車類（同24.2%増）が2か月ぶり、科学光学機器（同11.4%増）が15か月ぶり、エアコン（同20.3%増）が2か月連続、自動車の部分品（同31.2%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同6.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同9.7%増）が6か月ぶり、EU向け（同38.2%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出総額（百万円）	218,345	222,309	183,410	217,473	227,255	198,300	213,510	230,911
前年同月比（%）	▲3.3	▲1.5	▲5.8	▲4.0	▲7.4	▲4.2	▲1.7	8.7
(参考)全国前年同月比（%）	3.9	2.0	▲1.7	▲0.5	▲2.6	▲0.1	4.2	3.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原動機	▲15.6	8.2	▲8.6	17.4	6.5	15.6	2.7	▲13.0
エアコン	212.4	61.8	47.1	▲3.3	▲26.3	▲9.3	7.3	20.3
自動車	▲50.5	▲18.9	▲51.5	▲35.6	▲4.7	▲15.1	▲8.4	15.3
自動車の部分品	▲10.8	▲6.3	4.7	11.4	▲6.0	1.3	13.2	31.2
二輪自動車類	19.2	9.3	3.9	9.6	▲12.9	31.1	▲8.2	24.2
科学光学機器	▲30.2	▲24.6	▲21.4	▲31.2	▲42.5	▲25.2	▲13.7	11.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	▲1.7	0.8	▲0.1	▲4.5	▲5.6	▲11.4	▲3.1	9.7
米国	▲5.9	▲2.0	▲9.5	▲4.3	▲11.5	5.9	▲12.3	▲6.3
EU	▲4.5	▲14.6	▲22.9	▲9.2	▲17.7	8.2	4.0	38.2

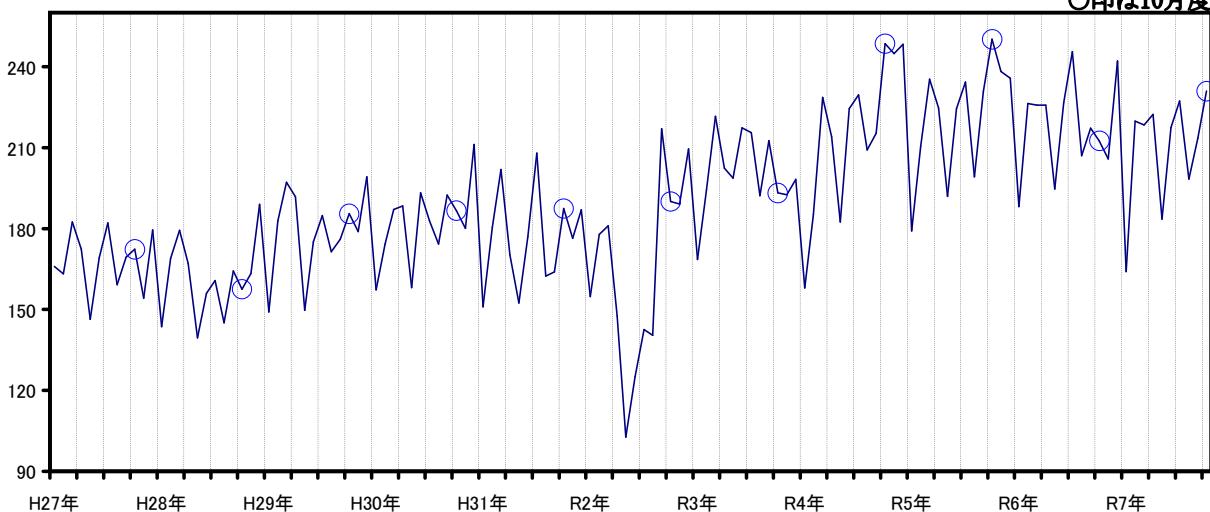
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は10月度



6 輸入

10月 = 122,450百万円

*前年同月比： 8.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸入総額は122,450百万円で、前年同月比8.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比8.3%減）、原動機（同30.3%減）がいずれも2か月連続、紙類及び同製品（同2.6%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同17.4%増）が2か月ぶり、魚介類及び同調製品（同10.7%増）、自動車の部分品（同36.9%増）がいずれも3か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（同12.9%増）、EUから（同18.1%増）がいずれも3か月ぶり、アジアから（同16.7%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸入総額(百万円)	117,149	120,831	133,766	123,956	132,078	105,951	123,971	122,450
前年同月比(%)	13.8	▲0.4	2.3	11.4	5.8	▲5.5	6.9	8.0

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
魚介類及び同調製品	1.1	30.6	▲4.5	5.9	▲2.0	9.4	38.5	10.7
木材	▲29.1	▲14.9	29.3	0.1	▲0.2	2.7	▲6.6	17.4
パルプ	▲1.3	8.0	▲5.7	▲18.1	▲15.8	4.2	▲9.7	▲8.3
紙類及び同製品	27.4	▲27.0	2.2	28.6	1.2	▲14.7	▲14.2	▲2.6
原動機	▲19.8	15.9	▲39.6	▲0.8	▲60.9	22.6	▲22.6	▲30.3
自動車の部分品	▲17.1	▲7.1	▲17.1	0.2	▲3.0	32.3	5.7	36.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位: %)

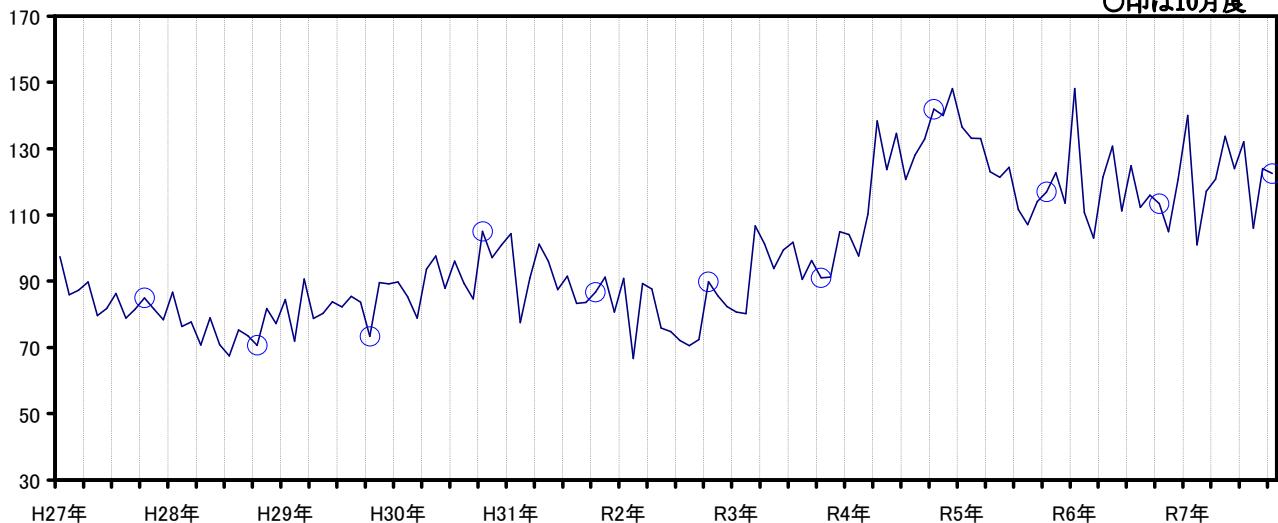
	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	26.5	▲0.7	8.0	7.1	14.1	▲3.6	4.1	16.7
米国	▲16.7	▲38.5	▲31.3	▲15.9	2.7	▲30.8	▲8.8	12.9
EU	▲17.7	▲6.5	5.5	▲14.4	10.1	▲14.4	▲18.4	18.1

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は10月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

10月 = 97.1

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.3%増

*前年同月比(原指数) : 2.0%増

<概況>

10月の鉱工業生産指数（総合）は97.1（季節調整済指数）で、前月比は2.3%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比（原指数）は2.0%増と、2か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品（前年同月比 0.6%減）が2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械（同 15.9%減）が4か月連続で前年水準を下回ったものの、食料品・たばこ（同 1.2%増）が7か月ぶり、電気機械（同 10.7%増）が14か月連続、輸送機械（同 4.0%増）が2か月連続、化学（同 1.9%増）が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指 数	93.9	93.3	99.8	96.3	93.7	95.3	94.9	97.1
前 月 比 (%)	▲ 4.1	▲ 0.6	7.0	▲ 3.5	▲ 2.7	1.7	▲ 0.4	2.3
前 年 同 月 比 (%)	▲ 2.1	▲ 3.6	▲ 4.0	1.7	▲ 4.1	▲ 3.0	1.8	2.0
(参考)全国前年同月比 (%)	1.0	0.5	▲ 2.4	4.4	▲ 0.4	▲ 1.6	3.8	1.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 14.2	▲ 23.8	▲ 1.8	0.0	▲ 6.6	▲ 3.6	▲ 11.2	▲ 15.9
電気機械工業	34.0	30.7	14.8	25.4	9.9	5.7	4.4	10.7
輸送機械工業	▲ 16.8	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 1.9	6.4	4.0
化 学 工 業	▲ 3.3	▲ 11.0	▲ 18.5	▲ 7.6	▲ 14.4	▲ 4.7	1.8	1.9
パルプ・紙・紙加工品工業	2.5	1.5	▲ 0.4	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 8.7	2.7	▲ 0.6
食料品・たばこ工業	2.2	▲ 15.6	▲ 3.6	▲ 1.2	▲ 4.9	▲ 4.4	▲ 2.4	1.2

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

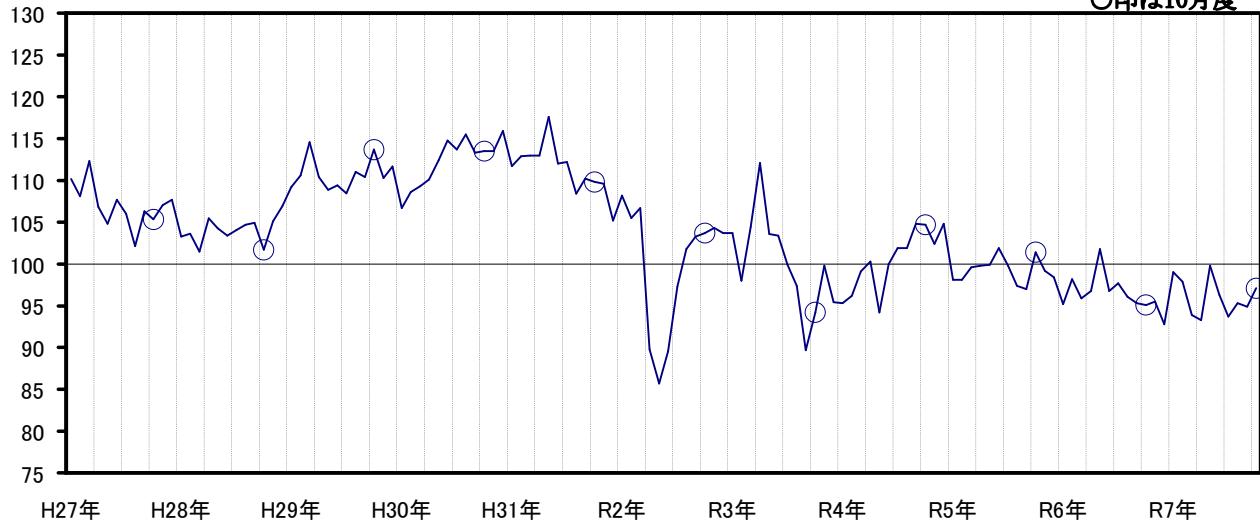
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は10月度



(2) 鉱工業在庫指数

10月 = 104.5

*前月比(季節調整済指標) : 1.3%減

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指標)

*前年同月比(原指標) : 0.2%増

<概況>

10月の鉱工業在庫指数（総合）は104.5（季節調整済指標）で、前月比は1.3%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比（原指標）は0.2%増と、2か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面（景気後退期）」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械（前年同月比0.4%減）が2か月ぶり、輸送機械（同4.7%減）が2か月ぶり、食料品・たばこ（同8.8%減）が5か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械（同1.1%増）が2か月ぶり、化学（同11.5%増）が12か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同0.3%増）が17か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指 数	105.6	103.0	102.8	104.8	102.1	102.0	105.9	104.5
前 月 比 (%)	2.3	▲ 2.5	▲ 0.2	1.9	▲ 2.6	▲ 0.1	3.8	▲ 1.3
前 年 同 月 比 (%)	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 5.0	2.6	0.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 1.9

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指標:季節調整済、前年同月比:原指標

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 8.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 5.3	▲ 4.7	0.1	▲ 0.4
電気機械工業	3.2	0.1	▲ 7.1	3.4	2.1	5.2	▲ 0.9	1.1
輸送機械工業	0.3	▲ 13.6	▲ 17.6	▲ 7.6	▲ 13.7	▲ 34.7	3.6	▲ 4.7
化学工業	2.5	1.6	0.4	4.8	6.3	6.3	12.3	11.5
パルプ・紙・紙加工品工業	5.4	7.7	11.0	8.0	4.6	4.7	2.9	0.3
食料品・たばこ工業	0.8	3.0	3.4	▲ 2.0	▲ 11.3	▲ 0.6	▲ 4.5	▲ 8.8

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指標

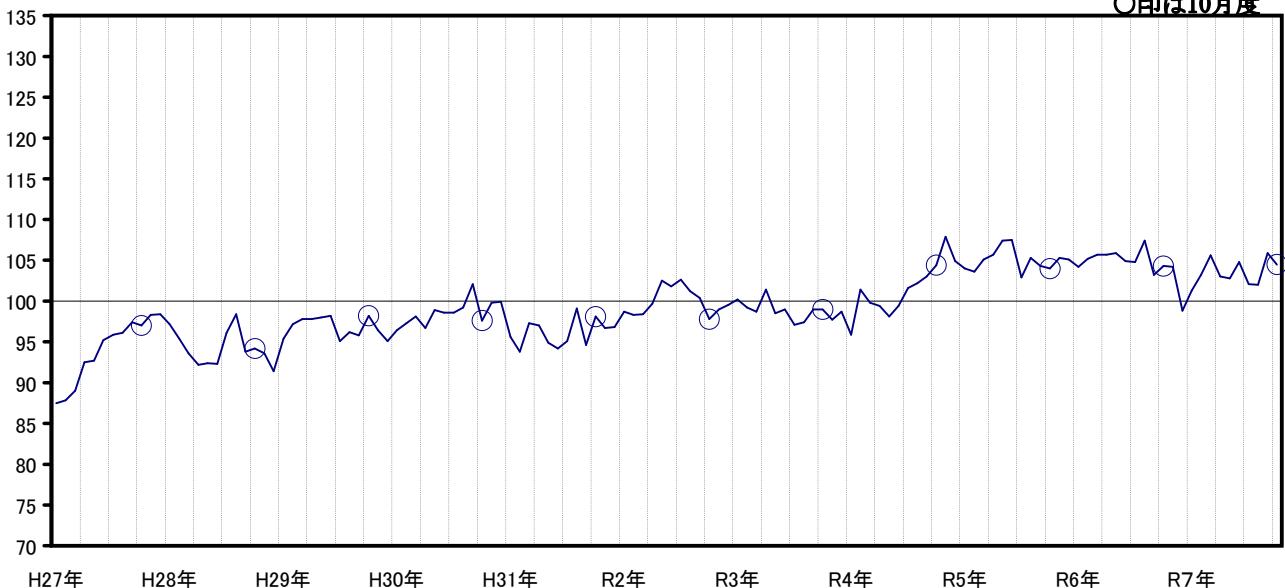
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は10月度



雇用面

1 雇用

(1) 有効求人倍率

10月 = 1.06倍

*前月比（季節調整値）：0.02ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

10月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.06倍となり、前月を0.02ポイント上回った。5か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比0.5%減）は6か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比10.2%増）が3か月ぶり、医療・福祉（同3.5%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、製造業（同18.4%減）、情報通信業（同24.2%減）がいずれも2か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同1.4%減）が3か月ぶり、建設業（同8.5%減）が4か月連続、運輸業・郵便業（同13.5%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
県（受理地別）	1.09	1.10	1.08	1.07	1.05	1.05	1.04	1.06
（参考）県（就業地別）	1.24	1.23	1.23	1.23	1.19	1.18	1.17	1.18
全 国	1.26	1.26	1.24	1.22	1.22	1.20	1.20	1.18

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建 設 業	▲ 6.0	▲ 3.6	▲ 4.4	0.3	▲ 4.1	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 8.5
製 造 業	▲ 9.5	▲ 7.0	8.0	▲ 0.8	▲ 16.2	▲ 1.3	3.4	▲ 18.4
情 報 通 信 業	▲ 20.7	▲ 37.8	▲ 31.3	11.5	▲ 15.7	▲ 17.8	18.5	▲ 24.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 6.0	20.3	▲ 11.6	5.7	3.3	▲ 16.8	▲ 1.3	▲ 13.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 16.5	55.9	▲ 21.9	4.4	18.9	▲ 41.8	▲ 6.9	10.2
医 療 ・ 福 祉	0.1	▲ 0.2	▲ 4.3	0.6	▲ 0.7	▲ 4.0	0.0	3.5
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 10.2	2.5	7.6	0.4	▲ 12.1	11.9	3.4	▲ 1.4
合 計	▲ 7.8	4.6	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 3.3	▲ 10.1	▲ 0.7	▲ 0.5

(注)学卒、パートタイムを除く

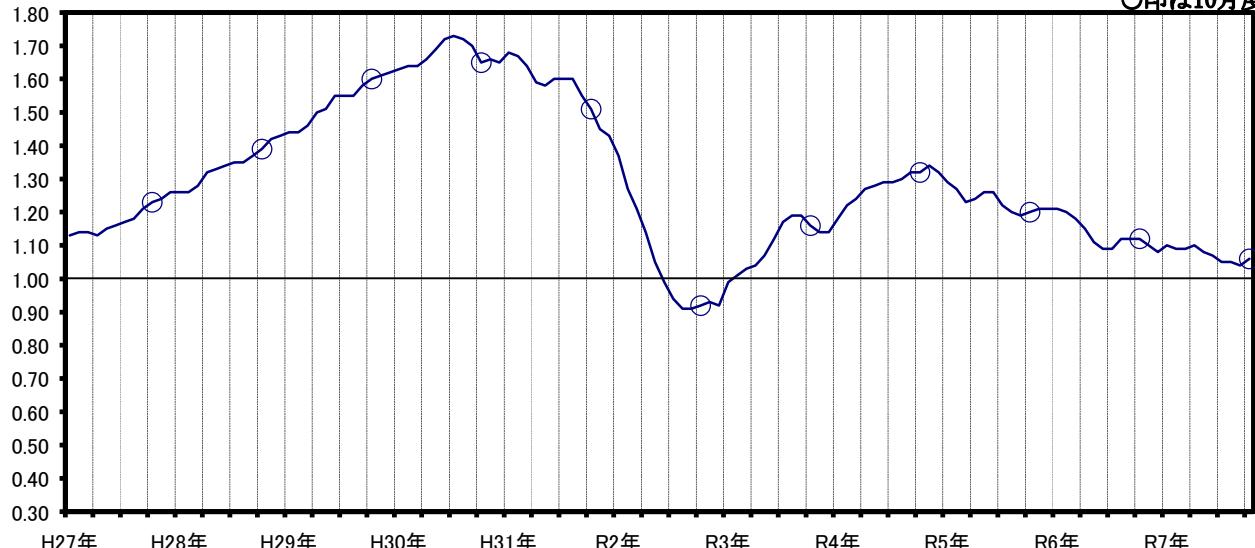
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は10月度



(2) 雇用保険受給者実人員

10月 = 14,620人

*前月比: 2.4%減

*前年同月比: 11.2%増

<概況>

10月の雇用保険受給者実人員は14,620人で、前月比は2.4%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は11.2%増と5か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率（全国）は2.6%と前月と同水準だった。

静岡県（令和7年7～9月）の完全失業率は2.2%で、前期（令和7年4～6月）から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人員（人）	11,216	11,217	12,059	12,992	15,013	14,817	14,982	14,620
前月比（%）	▲2.7	0.0	7.5	7.7	15.6	▲1.3	1.1	▲2.4
前年同月比（%）	5.9	0.2	▲0.8	4.2	8.3	9.0	13.6	11.2
（参考）全国前年同月比（%）	0.9	▲2.5	▲2.3	5.4	7.2	8.5	13.9	11.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完全失業率（全国）（%）	2.5	2.5	2.5	2.5	2.3	2.6	2.6	2.6

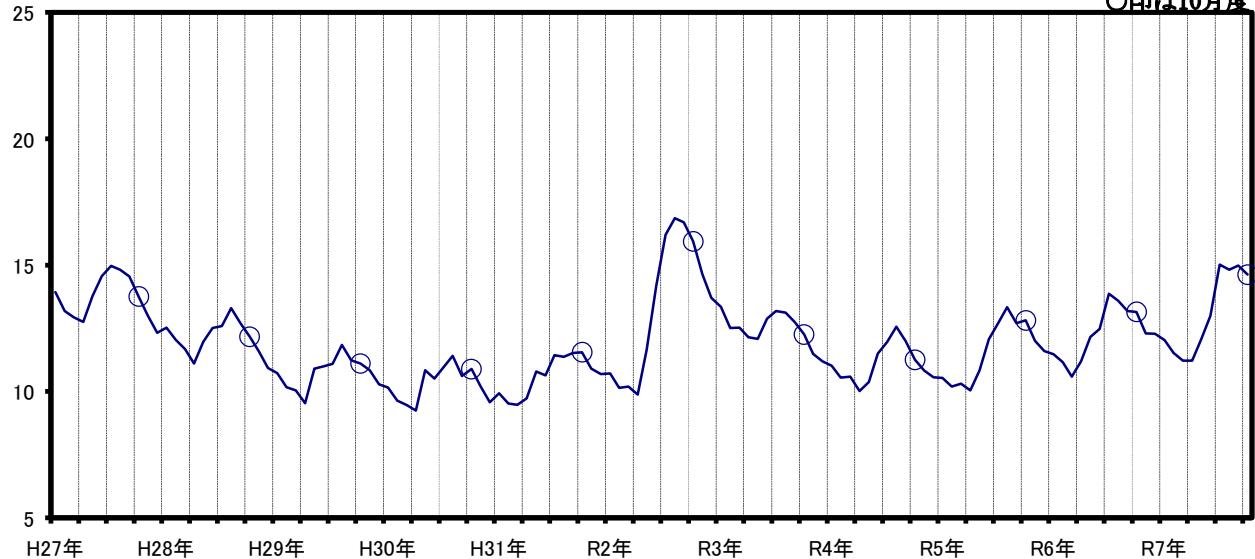
（注）季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員（千人）

<資料>厚生労働省
○印は10月度



(3) 所定外労働時間指数

9月 = 123.6

*前月比(季節調整済指数)： 7.8%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指標) : 0.8%減

<概況>

9月の所定外労働時間指数（事業所規模30人以上、調査産業計）は123.6(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指標)は2か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、医療・福祉(前年同月比27.4%増)が3か月ぶり、その他のサービス業(同2.1%増)が4か月ぶり、情報通信業(同32.7%増)が2か月連続、運輸業・郵便業(同2.6%増)が8か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同42.6%減)が10か月連続、製造業(同8.1%減)、卸売業・小売業(同3.1%減)がいずれも13か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指 数	119.7	117.3	122.1	124.0	124.3	124.6	114.7	123.6
前 月 比 (%)	5.2	▲ 2.0	4.1	1.6	0.2	0.2	▲ 7.9	7.8
前 年 同 月 比 (%)	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0	▲ 6.8	▲ 0.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 0.8

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指標:季節調整済指数、前年同月比:原指標

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	▲ 39.3	▲ 2.2	▲ 13.1	▲ 30.1	▲ 20.9	▲ 17.7	▲ 23.2	▲ 42.6
製 造 業	▲ 6.7	▲ 4.9	▲ 7.5	▲ 9.5	▲ 9.1	▲ 7.5	▲ 12.0	▲ 8.1
情 報 通 信 業	19.9	4.3	2.3	43.1	38.0	▲ 10.1	15.2	32.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	23.7	16.6	14.7	10.6	11.5	42.9	18.4	2.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 15.1	▲ 21.8	▲ 15.4	▲ 3.1
医 療 ・ 福 祉	4.9	▲ 11.8	▲ 3.0	0.0	22.4	0.0	▲ 12.7	27.4
その他のサービス業	▲ 1.3	▲ 7.5	2.7	2.2	▲ 6.1	0.0	▲ 7.1	2.1
調 査 产 業 計	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0	▲ 6.8	▲ 0.8

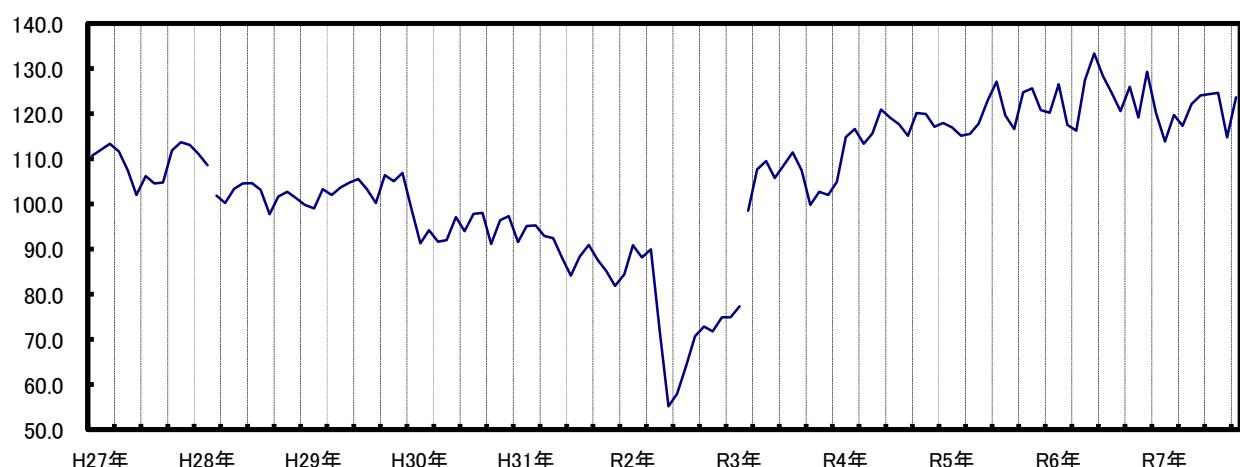
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指標

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



その他の

1 物 価

国内企業物価指数

11月 = 128.0

(令和2年=100)

*前月比: 0.3%上昇

*前年同月比: 2.7%上昇

<概況>

11月の国内企業物価指数は128.0となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は2.7%の上昇となった。

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国内企業物価指数	126.6	126.5	126.4	126.7	126.4	127.0	127.6	128.0
前月比(%)	0.3	▲0.1	▲0.1	0.2	▲0.2	0.5	0.5	0.3
前年同月比(%)	3.9	3.1	2.8	2.5	2.6	2.8	2.7	2.7

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

10月 = 145,328億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.2%減

*前年同月比: 1.9%増

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,328億円で、前月比とは0.2%の減少となった。また、前年同月比は1.9%の増加となった。

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	144,009	143,374	145,233	145,216	145,267	145,524	145,547	145,328
前月比(%)	0.3	▲0.4	1.3	0.0	0.0	0.2	0.0	▲0.2
前年同月比(%)	0.2	1.0	2.0	1.6	1.9	1.8	1.5	1.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

10月 = 1.543%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.000ポイント増

*前年同月差: 0.222ポイント増

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.543%で、前月と同水準だった。なお、前年同月差は0.222ポイントのプラスとなった。

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利(%)	1.435	1.483	1.485	1.534	1.542	1.540	1.543	1.543
前月差(ホーポイント)	0.037	0.037	0.002	0.049	0.008	▲0.002	0.003	0.000
前年同月差(ホーポイント)	0.179	0.179	0.213	0.268	0.274	0.261	0.240	0.222

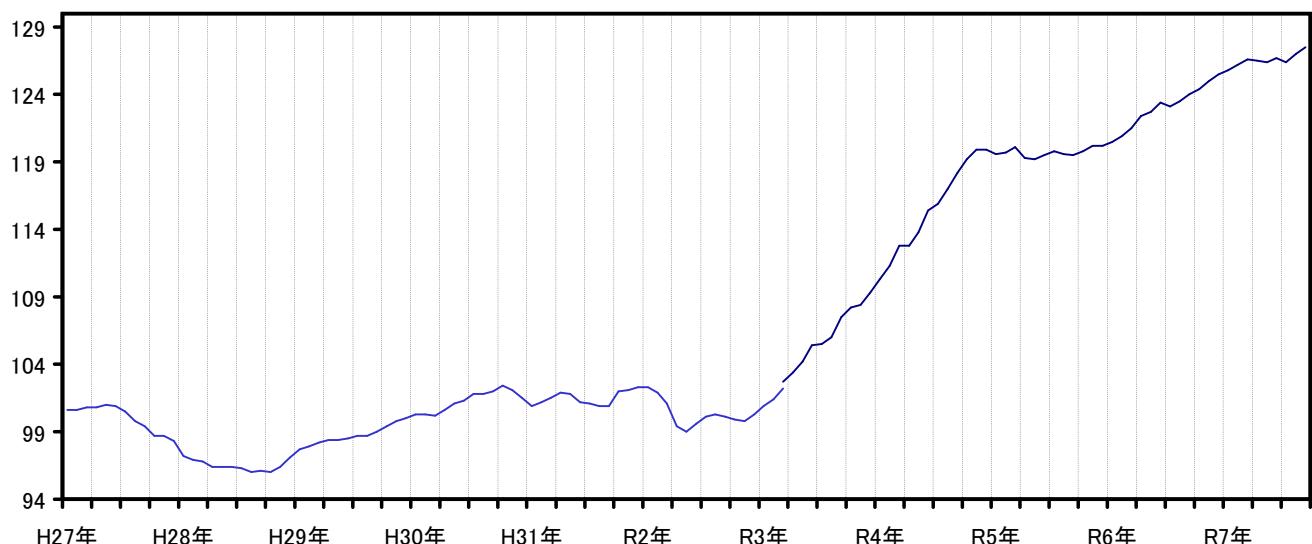
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

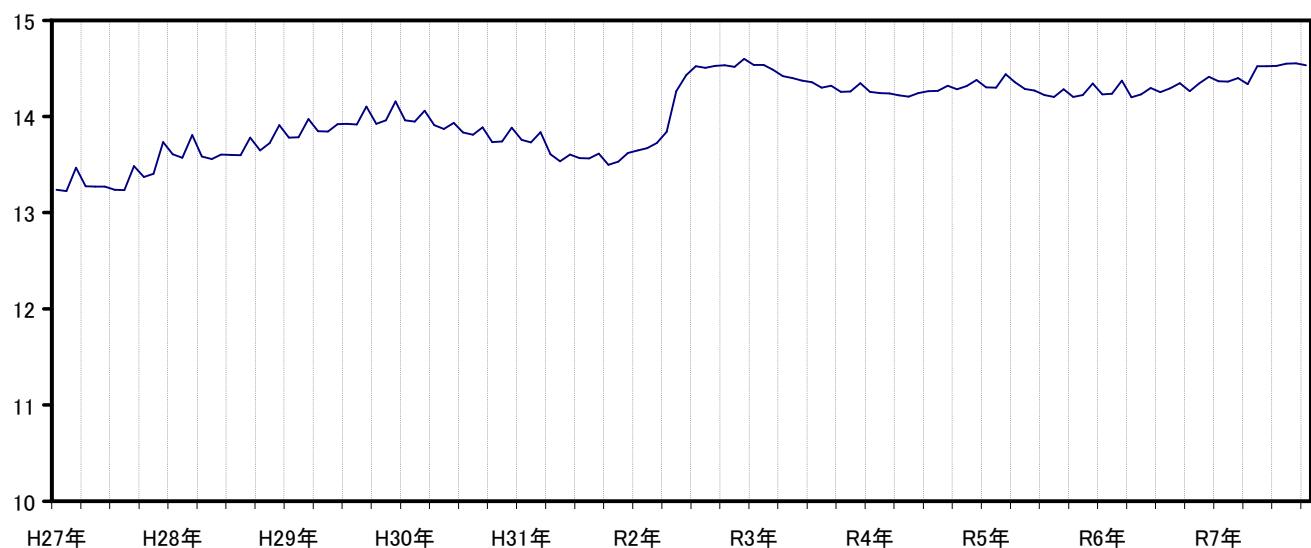
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



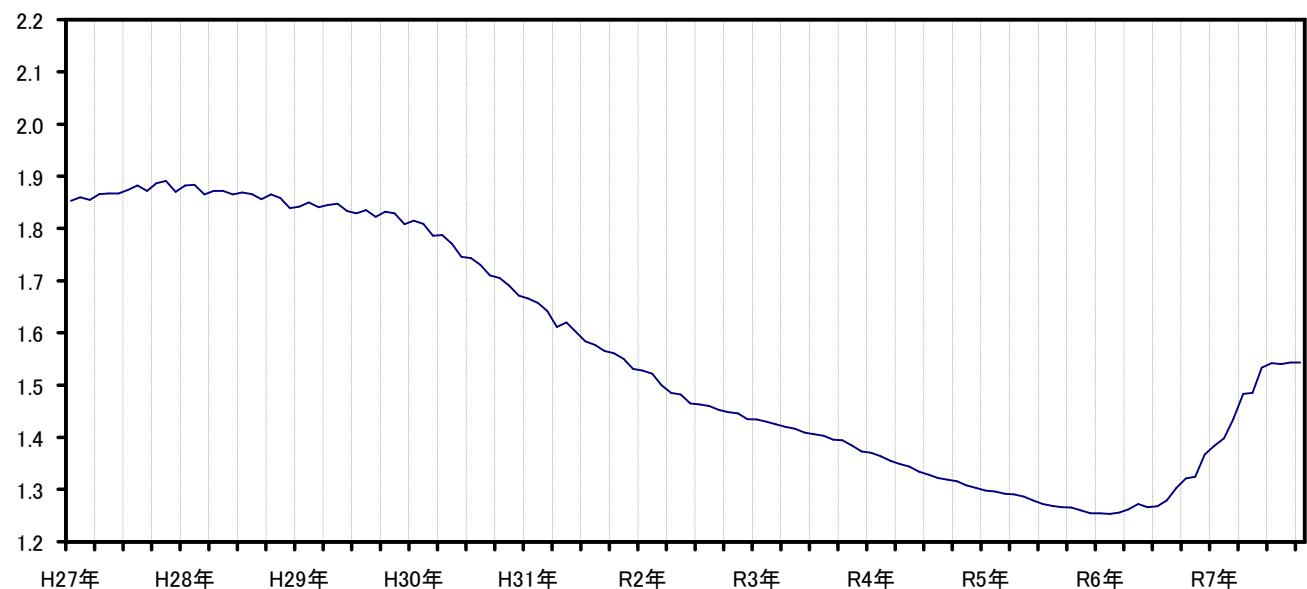
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

10月 = 16,213百万円

*前年同月比： 27.6%増

<概況>

10月の保証承諾は、金額は16,213百万円（前年同月比 27.6%増）、件数は1,536件（同 18.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保証金額（百万円）	28,519	28,272	32,981	28,829	22,299	19,851	25,391	16,213
前年同月比（%）	▲ 27.2	73.9	52.2	▲ 4.9	▲ 2.8	41.4	79.5	27.6
保証件数（件）	2,183	1,810	2,030	1,961	1,753	1,584	1,984	1,536
前年同月比（%）	▲ 14.8	32.2	18.6	▲ 9.2	▲ 2.8	14.2	34.0	18.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

11月 = 155.12円/ドル

*前月差： 3.84円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 1.40円安

<概況>

11月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は155.12円で、前月と比べて3.84円の円安となり、5か月連続で円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均相場（円）	144.39	144.75	144.50	146.71	147.67	147.94	151.28	155.12
前月差（円）	▲ 4.79	0.36	▲ 0.25	2.21	0.96	0.27	3.34	3.84
前年同月差（円）	▲ 9.04	▲ 11.38	▲ 13.32	▲ 11.35	1.44	4.56	1.65	1.40

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

10月 = 18件

*前年同月比： 38.5%増

<概況>

10月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比 38.5%増）と前年実績を上回り、負債総額は3,149百万円（同 132.6%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の94.4%を占め、30か月連続で50%以上となっている。

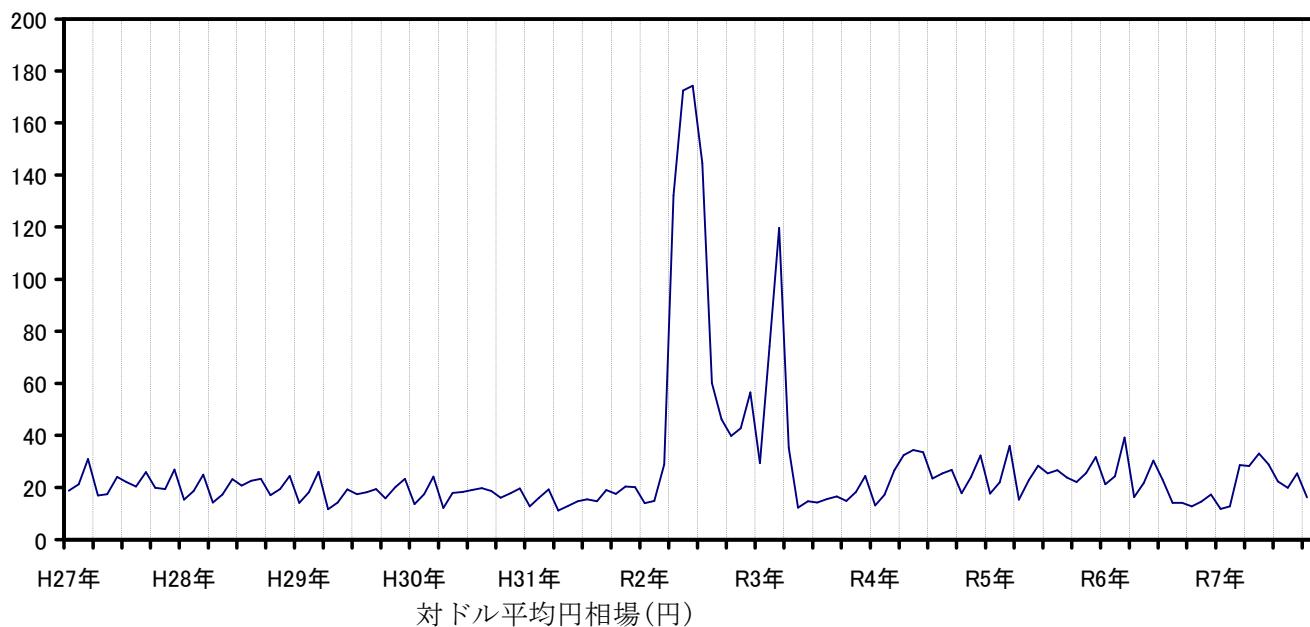
	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	26	14	17	23	20	17	15	18
前年同月比（%）	44.4	▲ 36.4	▲ 22.7	76.9	▲ 23.1	41.7	▲ 48.3	38.5
うち不況型倒産件数(件)	23	13	14	18	18	12	11	17
負債総額（百万円）	4,227	1,595	1,653	2,896	3,548	2,832	1,693	3,149
前年同月比（%）	▲ 8.8	▲ 32.4	▲ 84.1	116.1	▲ 58.0	39.6	▲ 60.2	132.6

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡社

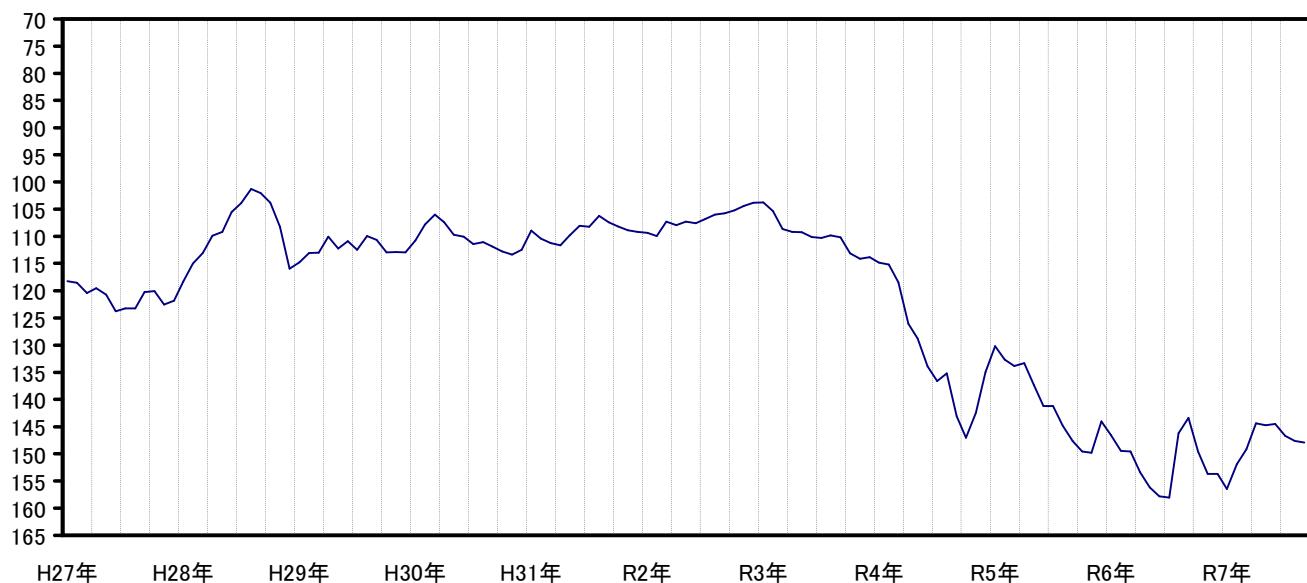
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

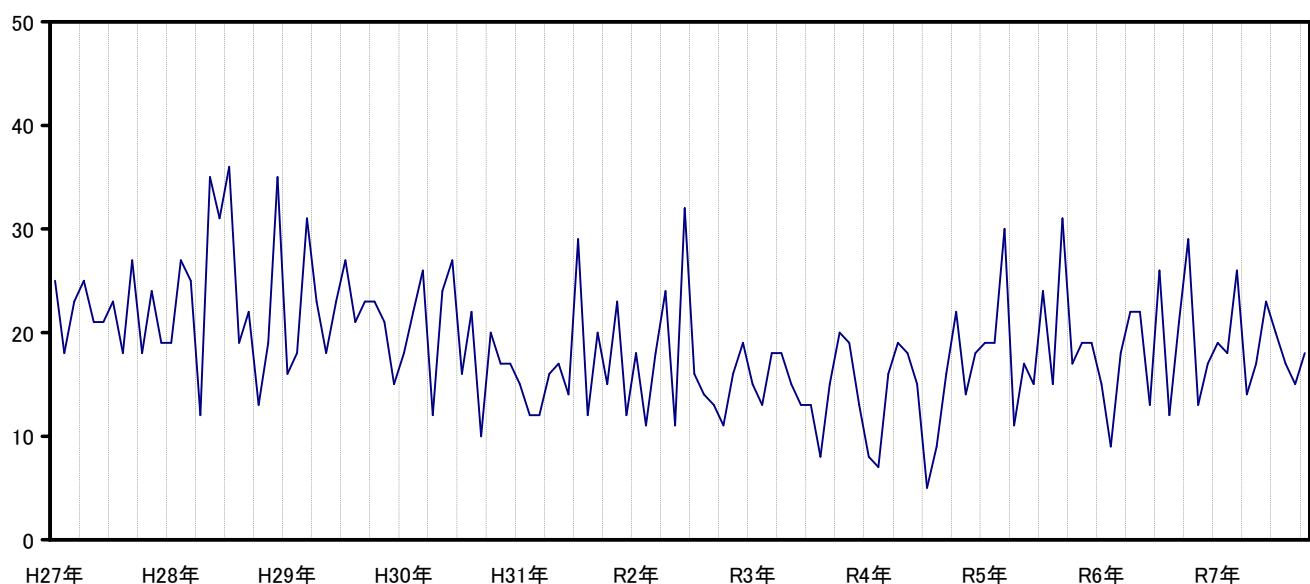


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



III 令和7年10月を中心とした静岡県主要産業の動向

業種	産業動向
二輪車	<p>9月の国内二輪車生産台数は、53,778台（前年同月比14.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,756台（同28.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,407台（同14.7%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,504台（同13.5%減）で2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,111台（同6.8%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,100台（同2.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、36,445台（同18.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自動車	<p>9月の自動車国内生産台数は、760,764台（前年同月比0.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は362,672台（同2.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>10月の冷蔵庫の国内出荷額は280億円（前年同月比3.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。国内出荷台数は256千台（同7.1%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>10月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは473千台（同7.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は71千台（同3.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>10月の携帯電話の国内出荷台数は、383千台（同9.5%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、353千台（同12.1%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は92.2%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>10月の工作機械の受注総額は、1,434億5,600万円（前年同月比17.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,077億6,300万円（同20.9%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが515億円（同3.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内需は356億9,300万円（同6.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会</p>

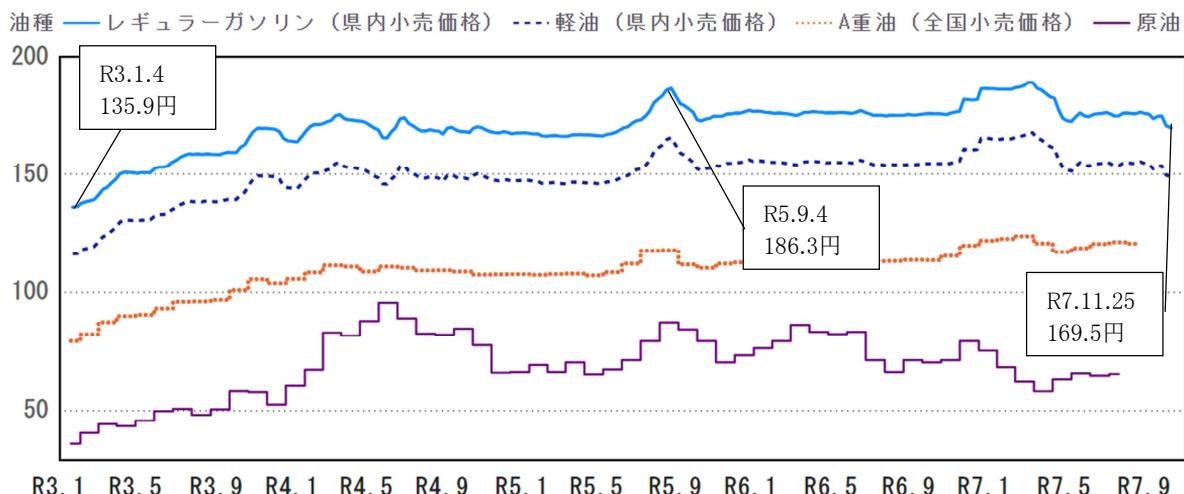
業種	産業動向
樂器	<p>10月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億4,940万円（前年同月比 7.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが30億1,725万円（同 9.1%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。国内向けが21億3,215万円（同4.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は2,086台（同4.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,179台（同 3.7%増）、グランドピアノが907台（同13.1%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,398台（同 3.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回り、国内向けが843台（同 8.9%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>10月の紙・板紙の国内出荷高は、1,719千㌧（前年同月比 4.0%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は756千㌧（同 7.6%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。板紙は963千㌧（同0.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、381千㌧（同 8.7%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、157千㌧（同3.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>10月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が1,007千箱（前年同月比4.7%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）が771千箱（同0.4%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は502千箱（同1.0%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は236千箱（同16.5%減）で2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類（国内向け）は、7,735千箱（同13.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
繊維	<p>10月の広幅織物の県内生産は、816千m²（前年同月比 8.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、781千m²（同 8.7%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、35千m²（同4.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千m²（同 5.5%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家具	<p>10月の全国百貨店での家具販売額は、38億4,565万円（前年同月比3.0%増）と7か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、586億9,740万円（同0.8%減）と2ヶ月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業種	産業動向
小売業	<p>10月の県内百貨店・スーパーの販売額は、39,321百万円（既存店前年同月比4.7%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品、その他の商品及び食堂・喫茶の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げは増加したが、来客数は減少した。10月中旬以降気温が下がり、衣料品の売上げが好調だったことや、催事の売上げが前年度を大きく上回ったことにより、売上げが増加した。</p> <p>中部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。近隣の競合店が閉店したことにより、来客数が増加した。また、10月中旬以降気温が下がったことにより、衣料品や鍋料理の売上げが増加した。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げは増加したが、来客数は同程度だった。米価格の上昇により、客单価が増加し、売上げが増加した。また、精肉、青果、弁当・惣菜の売上げも好調だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観光	<p>令和7年10月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約45万人で、前年同月比8.3%増となった。</p> <p>休日に悪天候が多かったため、屋外施設の入込客が伸び悩んだ一方で、屋内イベントの入込客の増加などにより、全体の入込客数は増加した。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約59万台となり、前年同月比2.7%減となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー169.5円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完成車生産台数(台)	24,615	25,562	22,957	22,521	22,185	23,511	17,383	22,850	25,794
前年同月比(%)	0.0	2.4	▲9.2	4.0	0.5	2.1	▲11.5	▲2.8	▲6.5
KD輸出額(百万円)	2,376	2,342	2,276	1,962	1,889	1,404	1,164	1,693	1,596
前年同月比(%)	72.6	102.1	106.4	199.3	163.8	48.3	62.2	180.3	117.9

<楽器>

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産総額(百万円)	2,749	2,895	3,736	3,338	3,624	3,822	2,780	3,530	3,768
前年同月比(%)	▲22.5	▲19.0	7.7	▲4.7	8.5	5.6	6.1	19.3	10.7

<缶詰>

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
食缶生産高(千ケース)	876	895	965	924	1,014	999	842	967	1,007
前年同月比(%)	▲3.7	1.7	3.5	▲0.1	3.5	▲4.6	▲3.1	0.2	▲4.7
うち水産缶詰(%)	▲6.0	5.4	2.7	▲0.5	3.7	▲4.5	▲4.4	1.1	▲0.4
農畜産缶詰(%)	3.0	▲8.6	5.7	1.2	2.9	▲4.7	1.1	▲2.7	▲16.5
飲料缶生産高(千ケース)	5,744	6,776	6,517	6,688	6,643	7,109	7,368	6,504	7,735
前年同月比(%)	▲6.3	▲6.3	▲3.4	▲9.2	▲8.0	▲6.4	4.3	0.9	13.7

<繊維>

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
広幅織物(千m ²)	840	860	771	621	647	559	582	678	816
前年同月比(%)	▲9.9	▲7.3	▲14.8	▲17.2	▲9.8	▲10.7	▲5.5	▲16.9	▲8.5
小幅織物(千m ²)	15	16	17	16	16	16	15	16	15
前年同月比(%)	▲4.7	▲11.0	▲3.5	▲3.0	▲10.3	▲11.8	▲11.1	▲2.3	▲5.5

<観光>

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
延べ宿泊者数(千人泊)	1,638	2,019	1,724	1,846	1,448	1,893	2,502	1,712	1,877
前年同月比(%)	▲6.3	▲3.2	▲3.9	2.0	▲6.4	▲7.9	▲3.1	▲5.4	▲0.6
観光施設(10施設)入込(千人)	298	460	525	512	309	301	444	309	449
前年同月比(%)	28.5	27.5	▲17.3	▲34.6	5.4	1.5	14.0	▲0.8	8.3
有料道路(4路線)通行量(千台)	546	658	582	597	561	632	729	588	594
前年同月比(%)	▲5.0	1.9	▲11.9	▲14.4	▲3.8	0.9	6.1	0.8	▲2.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは
静岡県公式ホームページの「統計センターしづおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和7年12月号 通巻596号

発行 静岡県経済産業部
令和7年12月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuokajp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>